

第4回 IT を活用した教育センターワークショップを開催して

昭和大学歯学部長 宮崎 隆

平成 24 年度に文部科学省の大学間連携共同事業として採択された「IT を活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成プログラム」につきましては、連携校である北海道医療大学ならびに岩手医科大学と力をあわせて、さらに各歯科医師会との連携のもとに着実に事業を進めています。平成 25 年度は、これまで共同で開発してきた新しい教育プログラムを、各大学の 3 年生に対するカリキュラムに取り入れることができました。

このたび、3 月 27 日（木）に昭和大学旗の台校舎において、第 4 回目のワークショップを開催しました。年度末で大変に忙しい時期でしたが、連携 3 大学ならびに各歯科医師会から約 50 名の参加があり、成功裏に終了することができました。今回は 3 年生に対して実施した教育の成果と改善点の検討、ならびに次年度の 4 年生に対する教育プログラムの検討を第 3 回目から発展させました。前回同様に、事前に準備した資料に基づき、各グループで熱心な討論が行われ、具体的なプロダクトを作成しました。前回以上に地域医療の現場で活躍している歯科医師会の先生がたからも具体的な提案を多数頂戴し、大いに参考になりました。

今回は前日に、「eラーニング教材作成セミナー」を開催し、金沢電子出版株式会社の佐藤様から、具体的な教材作成の方法やリソース講義への活用方法について教示していただきました。今後の各大学の教育に早速導入を図る予定です。

また、午前中のセッションで、各大学の地域連携歯科医療教育の現状を紹介していただきました。それぞれの大学が工夫をして教育に力をいれており、非常に参考になりました。

ワークショップを重ねるに連れて、参加者の共通意識が高まってきたようで、実りある討論と成果が達成されたと思います。

最後になりましたが、年度末の忙しい時期にも関わらずご参加いただいた各大学ならびに歯科医師会の先生がた、そしてワークショップの運営にご尽力いただいた教育センター、協力 IT 企業、ならびに各大学の事務関係者に篤く御礼申し上げます。